

第2号様式（第3関係）

平成25年度第1回豊山町生涯学習推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成25年8月28日（水）午前10時から
- 2 開催場所 豊山町役場 3階 会議室3
- 3 出席者 豊山町生涯学習推進審議会委員
（役職及び氏名） 会長：岡田洋司
委員：野村昌敏、宮沢洋子、岡島千衣子、渡辺博史
岡島剛、谷口富士子、石黒俊彦、安藤証一
大野容子
（欠席）山本達三、山田久美子
事務局：松田康朗教育長、坪井悟教育部長、水野典昌課長
秋田和清係長、安藤彬主事
- 4 議題 (1) 平成24年度生涯学習事業報告について
(2) 平成25年度生涯学習事業の進捗状況について
(3) 平成25年度文化振興事業について
- 5 会議資料 ・平成24年度生涯学習のまとめ (資料 No. 1)
・平成25年度生涯学習学級講座受講状況について (資料 No. 2)
・平成25年度豊山町文化振興事業実施概要 (資料 No. 3)
- 6 議事内容
(司会) おはようございます。お暑い中お集まりいただきありがとうございます。まず、本来6月に行うべき本審議会が8月になった事については大変申し訳ございませんでした。それでは定刻になりましたので、25年度の第1回豊山町生涯学習審議会を行いたいと思います。なお、本委員のうち山田委員につきましては、欠席の連絡をいただいておりますので、報告させていただきます。では次第に沿いましてあいさつを岡田会長お願いいたします。
(会長) みなさんおはようございます。本当に暑い夏で、それがなんとかひと段落した感じです。実は先程事務局の方から御断りがありましたが、今日まで延びた事につきましては実は、私5月末から6月にかけて入院しておりまして、それで申し訳ありませんが今日まで伸びました。ご理解いただきたいと思います。

今大学の中で学生と触れあっていて、ひとつ不安に感じるのがどれだけの学生が、学ぶ事の喜びを身につけているのか、もう少し言ってしまうとどれだけの学生が、うちの大学に限った事ではなく、学ぶという習慣を身につけているのか、最近かなり不安に思っています。たとえば電車に乗りましても、昔は本を読んでいた人がずいぶん多かったのですが、最近はスマホに熱中している人が多い。もちろんスマホは便利だし、身近な情報を取ることはできるのですが、少し本格的な事はなかなかあの画面では難しい。生涯学習という事を考えましても、学校に関係している人間として、なんとか学ぶ事の習慣づけ、学ぶことの喜びというものを味わってもらい、それを社会でも続けてもらって、生涯学習の場でそれをもっと発展させるというそういう社会全体のパターンができればいいなど、スケールの大きな話でなかなか難しいのですが、最近そういう事を考えております。本日もよろしくお願ひします。

(司会) ありがとうございます。それでは、続きまして教育委員会の松田教育長よりごあいさつ申し上げます。

(教育長) 改めておはようございます。先程来この会が8月になってしまった理由が述べられておりますが、やむをえなかったと思ひます。皆様のご協力、よろしくお願ひ申し上げます。私もこの夏は大変酷暑の夏であったなと思ひます。立秋が過ぎてもまったくその言葉が死語のようになってしまっているということ、また雨も降れば大雨、洪水、浸水と言った大変な天候になってきたなと思ひます。何があれ、私も生涯学習の行政を預かっている身でございます。行政を一時でも止める事は出来ません。町民の皆様のご負託に答えてやっていけるように、皆さまの力を借りてやっていきたいと思ひます。今日は、議題が3つございますが、順次進めてまいります。報告、進捗状況等でございます。最後には恒例でございますが、大変好評をいただいております文化振興事業についても御諮りいたしますので、慎重な審議をよろしくお願ひ申しあげまして、あいさつとさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

(司会) それでは資料の確認を行います。

～配布資料の確認～

それでは議事に入ります前に、議事録の作成に関する指針によりまして審議会の議事録はホームページに掲載されます。よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは生涯学習審議会の第6条第3項及び第7条によりまして、この後の議題は会長が取り回しの方よろしくお願ひいたします。

(会長) それでは本日の議題ですが、3つあります。最初は平成24年度事業報告について。8月になってしまったので、ちょっと前の話になりますが、平成24年度と、一緒に25年度の生涯学習事業報告について事務局の方に説明お願いいたします。

(係長) この4月から生涯学習係長になりました秋田です。よろしくお願ひします。後方におりますのは4月から入りました安藤彬です。よろしくお願ひします。では資料No.2をご覧ください。

(会長) ありがとうございます。24年度、25年度の実施状況を説明いただいたのですが、これまでの動きを説明しますと、固いものはどうしても参加者が少ない、そこで色々な工夫して親しみやすくしようというわけでこのような改良を加えてきたわけですね。ニュースポーツも色々試してみまして、評判の良いものを残していこうというスタンスでやってまいりました。やってきた事はさほど変わらないように見えますが、細かい所で改良が進んでいるという状況です。24年度を見まして、上手くいっているものもある。乳幼児学級は親しみやすさが表面化して24年度について言えば比較的上手くいっているのかなと思います。ただ、25年度を見ますと、どの項目も一部を除いて減っているのが気になります。これまで人気だった豊寿大学も定員を少し割っている。パソコン教室も2人と今までにない事になっている。その辺りの分析を含めて議論していただければと思います。どこからでも結構ですので、参加された方の印象や質問でも結構ですので、ご意見をお出しく下さい。

(委員) 豊寿大学、私も受けたかったのですが、いっぱい無理という噂が流れて、諦めました。

(会長) 毎年豊寿大学は定員オーバーしていました。今年は定員をわっています。そういう噂があった。

(委員) 早く行かないと取れないという話があった。

(委員) 何故豊寿大学で申込者が63人、定員が60人、参加者は以下の通りなのですが、この3人は抽選などで落選したのか、それとも63人申込はあったが実際には定員が欠けたのか、それが一点と、申込者数より多い参加者のものがあったが説明がよく聞き取れなかったのもう一度説明をお願いします。

(事務局) まず豊寿大学の方ですが定員60人を設けましたが、毎回全員が出席されるわけではないという過去からの経験により、63人受けました。結果として資料に示した通り60人が参加した日はありませんでした。部屋の収容人数に定員がありますので、それを越すまでは問題ないと思います。機材も必要ないものが

多い。それからパン・デザート講座の初回が22名になりますが、何故定員以上の人数があったのか詳しい事は聞いておりませんが、おそらく23年度まで行っていたお菓子作りから切り替わった関係で見学者が加わったのではないのでしょうか。

(事務局) グループでやりたいという方がいらっしゃった関係で定員をオーバーしました。また豊寿大学も60名超えましたが、3名ほど予備で受けさせていただきましたが、先程申し上げたとおりフルではありませんでしたので、定員63名という形で受けさせていただきました。

(委員) 3名の方は落選したわけではないということですね。

(事務局) はい、そうです。

(委員) 最高で63名受講されたかもしれないということですね。

(事務局) はい、そうです。

(委員) デザートの方は。

(事務局) 今の若い方は仲間どうしでやりたいという方が多いです。

(委員) 二人でみえても一人と数えてあるわけですね。

(事務局) はい。

(会長) 定員に関して融通の利くものと利かないものがありますね。豊寿大学は一割オーバーでもいいのではないかと思います。料理は材料の関係などもありますのでそれほど融通は利かないということです。定員に関しては多少融通を利かせながらやっていくしかないと思います。

(委員) 「昔遊び」は申込者が無くてやらないという状況の説明がありました。昔遊びをやるという募集の仕方で募集をかけると思いますが、内容がどのようなものか(広報は)無いように思います。また、例えば募集の枠が20名で2人なら中止にするといった、中止にする場合何名からといった決まりはありますか。

(会長) 今回は極端ですが、0というのは記憶にない。

(委員) そうですね。昔遊びは今回申込みがなかったので中止にしますと言う説明があった。

(会長) それから今年度のパソコン教室も2名でしたので、中止の対象になった事だと思います。どういう条件だったら中止にするのか基準をはっきりさせた方がいいと思います。

(委員) この際伺っておくといいと思います。

(会長) 今までこういった事はありましたか。

(事務局) 今まではございません。石黒先生がおみえですが、昔遊びはずっとスポーツ推進委員会の方にやってもらっています。竹馬などを作ります。学校などにも配りましたが、まったく応募がありませんでした。日にちの設定が悪かったのかもわかりません

が、0名ならやりませんが、1名でもやる予定はしております。基準を設けておりませんので、おっしゃるとおり、ある程度の基準を設けなければいけないと思います。今まで0名はありませんでした。基準はありません。

(委員) 若干の基準を設けた方がいいのでは。

(事務局) はい。例えば半分だったら中止にするといった事を今後考えないといけないと思います。ただ昔遊びは人気があって、竹馬など色々な事をやって子どもたちも喜んで帰る。ただ今回は0だった。何故かはわかりません。

(委員) ひろばでみていると、工作の教室で竹馬などを作って乗っている。その辺りでバッティングしているのではないかと。

(事務局) おっしゃるとおりふれあいひろばの方にも工作の教室があります。そのバッティングはあります。少し方向性を変えなくてはいけないとは思っています。

(委員) 時期が来ているのではないかと感じております。

(会長) これだけたくさんあると全部の調整は難しいかもしれません。バッティングすると色々影響が出ますので、避けた方がいいなと思います。

基準の話ですが、作るか作らないか、どうでしょうか。

(委員) どうでしょうか。20人募集して1人でもやる方向できたのですか。

(事務局) 基本的にはそうです。基準はありませんでした。

(会長) 参加した方も行ったら1人だったでは…。

(委員) 指導者や講師の方の立場も考えないといけない。無くなったら予定も変わってきてしまう。

(委員) ちょっとよろしいですか。少し関係あると思うのですが、オープンキャンパスというのがありますが、一回目参加して、日ごろ日常の目先の事に追われるので迷って参加したのですが、興味の有る無しに関わらず、カリキュラムされたもので参加してお話を伺うので、好むと好まざるとに関わらずいい話を聞けたと思うので、今年度もこういう話もあるよと言う事で他の方に話をしたら数人参加された。感想を聞いたら、私達は日ごろ流されているので、自分の知らない観点からの話は新鮮だった。参加する事によって全然違う形で勉強が出来た。その事でお礼も言われた。募集する際のネーミングや、クチコミなどで語っていくことが必要かもしれない。

(会長) こちらも工夫はしたのですが上手くいかなかった部分もある。

(委員) 今年は病気で出られなかった回があって、参加された方に教えていただいたのですが、日頃勉強できないような話を聞ける

のが有意義だったと参加した方はおっしゃっていた。募集する際に昔遊びで竹馬の話が出ていたが、竹馬だけではないので、一工夫が必要なのではないかと感じている。

(会長) 募集の仕方、受けたくなるような宣伝の仕方とクチコミですよね。

(事務局) オープンキャンパスは行かれた方には評判がよいです。内容を見るとなかなか難しい内容もあって、とっつきにくいかなと思います。もう少し柔らかい感じで募集していきたいと思います。

(委員) 今年は良かった、参加しやすかったと思う。リピーターも2、3名いた。本当に楽しいとおっしゃっていた。

(会長) これに関しては今まで私どもの愛知学泉大学豊田学舎が主体だったが、岡崎学舎にも行ってもらうという手もあると考えています。

(委員) 女性が多いので岡崎も考えてほしいと何度か言われている。

(事務局) 食物の事もやってほしいというリクエストもいただいております。

(委員) 先程の昔遊び、日にちは毎年この時期ですか。

(事務局) 今回9月になりましたが、いつもは11月頃です。日程が詰まっていたので9月に変えました。日程が悪かったと思っています。

(委員) 夏休みにやるとかはだめですか。

(事務局) それもいいと思っていますので、今後日程も含めて考えます。

(委員) この前カルタを作ったが、それは使えないか。

(事務局) カルタを作られた文化財研究会が、大型カルタを作り子ども広場で使われました。

(委員) ふれあいひろばの方でもそのカルタ遊びをやっていたように思います。

(事務局) そちらでもお願いしています。

(委員) それで大会を行ってもいいのではと思います。

(事務局) わかりました。

(会長) せっかく作った物なのでそういう形で利用して広めていくといいですね。

(委員) 豊山弁カルタですか。

(事務局) はい、社会教育センターで販売しております。

(会長) では話しを少し戻しますが、基準を設ける話は事務局で検討していただいくということよろしいでしょうか。

(事務局) はい。

(委員) そば打ちはまた10名ですか。1回しかやらないのか。

- (事務局) 今年の後期も講座で行いますが、講師と相談して、定員を増やせるようであれば増やしてもらおう方向で考えております。回数ですが、2回は考えておりません。
- (会長) 歴史講座はもう少し人がいてもいいのではないかと思います。中身はある程度の年代向きかとは思いますが、現地を巡るものもあるので参加された方は面白かったのではないかと思います。どういった形で宣伝して行くかと、参加された方のクチコミの両方が必要ではないかと思います。
- (会長) 他いかがでしょうか。パソコン教室2人だったのはなにか理由は考えられますか。
- (事務局) パソコン教室ですが、初級編と付けたことで抵抗があったのが失敗だったのではないかと思います。去年はスイッチの入れ方からの初心者が見えたので今年はそういうことも踏まえてはじめてのパソコン初級編とつけました。実際にはもう一つの応用編と内容はあまり変わらず、時間の長さによる充実度の違い程度でした。そういうことで名称への抵抗を避けるためにも、初級や初心者という言葉は取ろうかと思えます。短縮版と通常版といった形にしようかと思えます。
- (会長) 参加する側にはある程度目安があった方がいいのではないかと。今回の場合はウインドウズ8を学べるというのが良かったのではないかと。
- (会長) 前に一度問題になった乳幼児学級ですが、これは人数的には改善されているが、評判等気になった事はございますか。前は難しかったが、親しみやすくなったなど。その路線を維持して行けばよいと思えます。内容についてはしばらく決まっていますが、なにか企画の提案などはございますか。
- (委員) 料理教室はどのくらいの方がみえるのか。30代とか。
- (事務局) 30前後の方と60代の二つのグループに分かれます。男性も参加しております。男性は60代です。60代の方は他の講座でもそうですが、参加の中心になっております。
- (委員) 若い方が見えるのはいいですね。
- (会長) どうやって若い方に参加していただくかはずっと議論してきました。正直むずかしい。昼間お勤めの方が大半なので。これに対しては、単発の講座でカバーするしかないと思えます。
- (委員) 中高年向けでお金に関する講座がない。お金儲けではなく、年金、税金、保険、そういった話しが全然なくて、学校でも全然教えてくれない。特に健康保険、年金、税金、最近変わる相続税といったことを易しい内容で生活に基本的な事を生涯学習で扱ってほしい。ご意見を伺いたい。

- (会長) 大事なことだと思います。年金を受け取っている方とこれから受け取る方で違ってくる。年金に関しても50代前半の方などもこれからどうなるかわからない。こういう世の中だと将来生活がどうなるか、その中でお金をどうやって使っていくのかということは皆さんずいぶん気にしている。その意味では感心を集めると思う。
- (委員) 特に年金は自分が請求しないともらえない。知識がなくて貰い忘れていて方がいる。そういった方のために中高年向けに年金、健康保険、税金の仕組みを取り上げていくといいと思います。
- (会長) 既存の講座か新規に開設するのどちらがいいですかね。
- (委員) 今すぐに入れると言う話ではないが、講座を検討する際に考えてほしい。
- (委員) 出前講座があるが、人数が集まらないとできない。申込も必要。
- (事務局) 出前講座は人数が集まらないとできませんが、年金や税金については町の職員が説明できると思いますが、具体的な話は難しいかもしれません。講座の中で何処に入れるか考えていきます。
- (会長) 個々の制度の説明も必要だが、全体として自分の家計と結びつけないと面白くないかもしれない。
- 他に何かテーマはありますか。大枠は決まっているが、絶えず部分的に改定していく必要がある。
- (会長) 私からの要望なのですが、社会教育センターで話をした際、設備的にパワーポイントなどを使う際に不便だった。予算を請求してほしい。最近こういった場所ではパワーポイントを使う事も多く、映像なども見せる事も多い。ペーパーだけよりは親しみやすくなる。お願いいたします。
- (委員) 健康志向と言う事で、中高年の方のトレッキングやハイキングといったことで皆さん興味があって親子で行くといったこともある。JRや名鉄で集まってやっている。町の健康志向や運動などでやってはどうか。
- (会長) うちの大学には岡崎に家政学部があり、管理栄養士の学部がある。ダイエットや食生活の改善について座学で学ぶ。もう片方で体育の専門家にトレーニングを学ぶというのを組み合わせる自分の健康を作るような講座を用意できるのではないかと考えている。
- (委員) 保健センターの方で豊山町を歩こうと言う事で7、8月は無いのですが、一年を通じて毎月1回、20から30人くらい集

まって歩いている。名所巡りなど名前を付けている。9月8日の健康フェスティバルには地図を書いて、みんなで歩こうという募集もしている。

(会長) あちこちにいろんな企画があつて、ここで完全に掌握できているわけではない。精査したうえで新しい企画を作るか、もしくは統合する必要がある。

(会長) 質問等がございますか。とりあえず24年度の生涯学習についてはご承認していただけますでしょうか。

(全員拍手)

(会長) ありがとうございます。25年度につきましてはもう少し審議したいと思います。今年度半年の参加状況についてなにかありますか。

(委員) 定員と申込者数となっているが、前期に関して申込者数は参加者数と同数か。

(会長) 必ずしもそうではない。参加人数は減る。

(委員) その場合申込者数と参加者数を分けて表記してほしい。

(会長) 一回ずつそれを出すとわかりますね。

(会長) 何もなければ25年度も承認いただけますか。

(全員拍手)

(会長) では、3番の平成25年度文化振興事業につきましてお願いします。

(事務局) 資料No.3の平成25年度豊山町文化振興事業実施概要をご覧ください。～概要説明～

(会長) ありがとうございます。今年までとは若干傾向が違う気がしますがいかがですか。

(委員) 素晴らしい演奏をされると思います。以前聞きにいったことがあります。

(会長) 内容の説明をそのまま広報に載せると固いのではないか。

(委員) 写真を載せればテレビで見た事があるわという方がいると思う。

(会長) いつ頃から企画しましたか。

(事務局) 6月にサポーター会議を行い、4つの候補に絞り、条件を考慮した結果青島さんが残りました。他の候補の方で、年末にディナーショーを企画されている方だと年末を優先で販売するので11月にチケットを販売できないなどの条件もありました。

(会長) サポーター会議で決定した事です。どうやって宣伝するか、来てもらうか。

(委員) 今まではチケットは文化展の時に販売していたが年末に販売

するのか。

(事務局) そのような候補は外しました。チケットは例年通り販売します。

(事務局) 昨年は若者にも人気の企画でした。例年すぐに無くなる。

(委員) 日曜日に仕事をやっていると行きたくても買いに行く暇がない。

(会長) 何回もそのような状況が続く場合、少し考えないと町民全体にも回っていかないので工夫がいると思う。

(委員) 豊寿大学のようにダメかと思って行かなくなるかも。

(委員) 抽選にするとか。

(会長) 今後の状況に応じてやり方を変えていかないといけないかもしれない。

(事務局) いただきましたいろいろなご意見は今後検討させていただきます。

(会長) 3番の平成25年度文化振興事業につきまして承認いただけますか。

(全員拍手)

(会長) 最後その他と言う事で質問等ございますか。事務局の方は何かありますか。

(事務局) ありません。

(会長) 今日の審議会は終了させていただきます。次回はいつごろになりますか。

(事務局) 昨年と同じころ、11月にお願いしたいと思います。会長ありがとうございます。それでは生涯学習審議会を閉会したいと思います。

上記のとおり平成25年度第1回豊山町生涯学習推進審議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、会長及び出席者1名が署名する

平成25年 9月 3日

会 長 岡 田 洋 司

署名人 宮 沢 洋 子